

概要

- 食料等の人の生活資材を生産する生物資源（植物・動物・微生物・昆虫）の機能解明と開発を通じて、生物資源の**持続的生産**と地域から地球に至る**環境の保全**を図るための基本的・応用的な教育研究を行う。
- 生物資源の**合理的な生産と利用**に関する理論と実践力を身につけグローバルな視点を持ち、**農業や関連産業**に貢献できるスペシャリストでありながらジェネラリストとしての素養を持つ人材を養成する。

生物資源科学科では 下記のような学生を歓迎します

- 生物資源科学を学ぶための基礎となる科目を履修していること
- 生物科学に基づいた生産技術、生物資源の利用に関する専門知識を身につけたいという熱意があること
- 問題意識を持ち主体性を持って行動できること



生物資源科学科の専門教育科目(抜粋)

作物栽培学

作物学、作物生産技術学

園芸学

園芸学、園芸作物学

植物育種学

遺伝・育種学、作物品種改良論

植物病理学

植物病理学、植物ウイルス学

植物栄養学

植物栄養学、基礎土壌学

応用昆虫学

昆虫生理・分子生物学、昆虫生態学、遺伝子工学

畜産学

動物育種学、動物機能形態学、栄養機能調節学

フィールド実習

フィールド実習I, II, III
国際フィールド演習

生物生産のジェネラル・スペシャリストの養成

【「なりたい自分」のための多彩な選択肢と道案内を用意】

実験重視 or 実習重視

実験と実習の履修配分を選択

- ・生物学実験
- ・フィールド実習 I・II

フィールド科学 を重視

広く「環境調査」を含むフィールド実習を用意

- ・フィールド実習 III
- ・国際フィールド演習

専門分野選びと その準備

実験は12のテーマ別ユニットから最大4つを選択

- ・アグリバイオサイエンス実験 I・II

キャリアデザイン を支援

研究室選びとキャリア形成を支援する科目を用意

- ・アグリバイオサイエンスの展望と課題 I・II

生物資源科学科で学ぶと 下記のことを身につけることができます

農学の素養のある技術者として必要な基礎知識

生物資源科学に関わるフィールド研究が実践でき、
現場で問題を取り上げ、解決できる能力

植物・動物・昆虫・微生物について学んだ知識を、
食料・環境問題と結びつけて考えることができる

主体的に考えて、行動でき、コミュニケーション能力

幅広い教養と 国際性

生物資源科学科で取得できる資格

高等学校教諭一種免許(農業)

卒業後の進路（生物資源科学科の母体となった 生物生産科学科3コースの卒業生の最近3年間）

就職

主な会社など

農業関連

サカタのタネ、カネコ種苗、日本農産工業、
伊藤忠飼料、雪国まいたけ、動物園（上野など）、牧場

化学・食品・
環境関連

キリンビール、滝沢ハム、ヤマザキナビスコ、キュー
ピー、協同乳業、トモエ乳業、岩下食品、仙波糖化工
業、エーザイ、アース環境、

公務員

農林水産省、栃木県、群馬県、福島県、千葉県、
福島県、山形県、宇都宮市、さいたま市、高校教員

JA等の
団体

全農栃木、経済連、JA（宇都宮、塩谷など）、
独立行政法人家畜改良センターなど

進学

宇都宮大学大学院、東京大学大学院、筑波
大学大学院、北海道大学大学院、九州大学
大学院、東京農工大学大学院など